広報まき

1968・1月25日
第45号
発行　新潟県巻町役場
電話　代表(2)3131
編集　企画調査課
住民基本台帳人口
(昭和42年12月31日現在)
総人口　27,713人
男　13,329　女　14,384人
世帯数　5,932

駅舎改築決まる

4,800万円の予算つく

四月から工事開始

駅舎の改築が決まりました。国鉄本社において十二月二十五日の理事会で巻駅舎の改築が決まり、四千八百万円の予算が決定しました。

現在の見込みでは、駅舎のとりこわしが三月から行なわれ、四月から改築工事に入り十一月完成の予定です。

駅舎の改築については、かねて懸案事項の一つであり全町民待望の問題でもありました。

当町は四つの高校をはじめ国、県の出先機関の諸官庁が所在しており、また新潟市、燕市方面への通勤者も年々増加し、朝夕はものすごいラッシュであり、老朽と狭あいのため駅舎の改築が強く要望されてきました。

これが実現のため、町をあげて運動を起し、各層、各団体から委員をあげ、巻駅舎改築期成同盟（会長江端町長）を結成して猛運動を展開してきた結果がここに実を結びました。

駅舎改築に先立って、一昨年ホームの拡張工事が行なわれました。ホームを約三十センチ嵩上げし、駅舎の南手を三十メートル、北手を六十メートル延長し、全長二百二十メートルにしました。

駅舎の反対側南手四十メートル北手十二メートル延長し、全長二百十四メートルにしました。同時に自動警報器に切りかえました。

同年七月新潟―柏崎間に準急「かくだ」の運転が開始され、巻駅が準急の停車駅になりました。

このように施設が整備され、待望の駅舎改築工事がいよいよ本格的に行なわれますので、ことし中に越後線有数の近代的な駅舎がおめみえし、巻町の表玄関として面目が一新されると思います。

（写真―改築を待つ現駅舎）

県単事業で葉たばこ調理機七台

葉たばこを栽培している砂丘地帯に県単補助事業で葉たばこ調理機七台購入しました。

購入した葉たばこ調理機は一台三万二千円、七台で二十二万四千円です。この内県からの補助が七万八千四百円（三十五%）町の補助が一万一千二百円です。

葉たばこ調理機の効果は労力がいままでの三分の一ですみ、しかも選別調理が確実で、上位等級品の出荷ができますので、農家からよろこばれています。

なお、調理機は各部落毎にある葉たばこ組代区に配置されました。

自主財政再建計画を議決

41年度一般会計決算を承認

12月議会

昭和四十二年第八回町議会第四回定例会議が、十二月十八日から会期四日間の日程で開かれました。

提出された議案は、自主財政再建計画の策定について外十二件、請願四件、議員提出議案二件でそれぞれ慎重審議をした結果、請願一件が不採択になったほかは原案どおり承認し会期一日を残して二十日閉会しました。

主なものは次のとおりです。

◇昭和四十一年度一般会計歳入歳出決算の認定について

◇昭和四十一年国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

両決算については原案どおり承認されました。その内容については十二月二十五日発行の本紙で、公表した財政事情のあらましの中にお知らせしましたので省略します。

◇自主財政再建計画の策定について

昭和四十一年度土地購入特別会計の決算は歳入不足となり赤字を生じました。

歳入不足になった原因は、町発展の施策実現のため、県養鶏試験場移転に伴う用地買収をはじめ、道路改修用地などの県用地を購入した費用であり、一時借入金によってまかなわれてきました。

しかし、これらは県政が具体的に本町に実現するためのものであり、実現しますと逐次繰替金として入ってきますので長期間にわたる赤字ではありませんが、これを解消するために自主的に財政再建計画をたてました。

財政再建計画は昭和四十二年、四十三年の二か年とし、この期間で赤字を解消することになりましたので、町民皆様のご協力をお願いします。

◇昭和四十二年度巻町一般会計補正予算について

今回一千六百五十三万円を補正し、歳入歳出予算総額は四億四千百五十六万七千円になりました。

歳入では町税五百八十五万一千円、分担金及び負担金百九十五万五千円、国庫補助金五百八十七万七千円、諸収入百八万四千円、町債二百万円、その他六万六千円。

歳出の主なものでは八・二八水害で被害を受けた簡所の災害復旧費八百二十六万四千円、土木費四百八十万四千円、衛生費百三十一万八千円、民生費六十六万九千円、総務費二十二万五千円、消防費に百十三万九千円がそれぞれ支出されます。

◇昭和四十二年度国民健康保険特別会計補正予算について

今回の補正で三十三万円を追加し、歳入歳出予算の総額は一億三千七百六十四万円となりました。

昭和四十三年第一回臨時議会

給与改訂による追加予算などを可決

昭和四十三年第一回巻町議会臨時会が一月二十三日午前九時三十分から役場議場で開かれました。

提出された議案は職員の給与改訂に伴い、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、ほか十議案について審議が行なわれ原案通り承認されました。

また、巻町外三か町村衛生組合議員の補欠選挙が行なわれました。

主なものは次のとおりです。

▽新潟県巻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

今まで保険税の所得割は、退職所得金も課税の対象にされましたが、法の改正によって昭和四十三年度分の国民健康保険税から退職所得金は課税の対象にされないことになりました。

▽昭和四十二年度巻町一般会計補正予算について

今回歳入歳出予算をそれぞれ六百七十一万一千円を追加し、総額は四億四千八百二十七万八千円となりました。

歳入の主なものでは臨時地方財政交付金と地方交付税で六百六万八千円。歳出の主なものは職員の給与改訂による支出です。

▽巻町外三か町村衛生組合議員に高橋良平議員

巻町外三か町村衛生組合議員に欠員が生じたので、補欠選挙を行なった結果、高橋良平議員が当選しました。

農業委員会総会終る

制度資金の利用者増える

町農業委員会（会長中野文作）は、二十二日公民館で第六回定期総会を開き、一般事務報告と農地、農政、農業振興の各部会長から事務報告が行なわれ原案どおり承認しました。

農地部会で扱った一年間の農地移動状況は、農地法第三条にもとづいた農地の売買、交換、贈与によって移動した総件数が六百十五件、面積で七十三万四千百七十二・七三平方メートル（七十四町一反六畝）となっています。

このうち、売買が四百七十五件、面積で四十三万四百九十七平方メートル（四十三町五反）で、全体の五十九%をしめています。

また、昨年一年間で農地が宅地等につぶされた面積は、五万九千六百平方メートル（六町歩）となっています。

しかし、農地の売買および宅地等に転用された件数、面積は四十一年にくらべますと減少してきています。

自作農資金貸付状況は申請件数八十三件、申請金額が四千二百十万円で、このうち八十二件が農地を購入するための農地取得資金です。この制度資金を利用して、経営面積を拡張する農家が増えてきています。

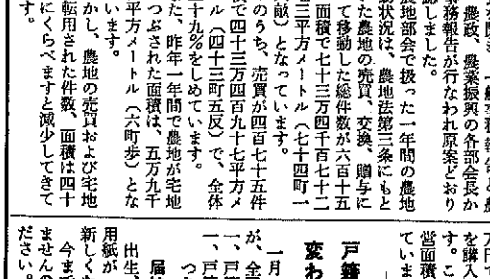
農業表彰式

優良農家が実績発表

昭和四十二年度巻町農業表彰式が一月十日巻農協で、町、農協関係者及び各部門の入賞者七十人が出席して開かれました。

表彰式に先だち米多収穫一位山賀小七氏（竹野町）、種豚一位倉沢弥須栄氏（仁箇）、球根一位外山清導氏（四ツ郷屋）の三氏に、町農業のレベルアップをはかるため初の試みとして実績発表をしてもらいました。

実績発表の内容は、それぞれ丹念な努力の積み重ねと意欲的な創意工夫をこらしており、聴衆者に深い感銘を与えた。講評に立った西村巻地区農改普及所長は「三人の実績発表者は巻町の農業に光を与えた。しかし、ほかの農家がこのマネをしたところで速効的効果が望めないし、冒険だ」と、警告を発していました。このあと、江端町長が入賞者に賞状賞品を贈って祝福し、町農業表彰式を終りました。



（米づくりの"コツ"を発表する山賀氏）

他人ごとでない交通事故

ことしこそは死者ゼロ

交通事故。一瞬にして人間から小さい幸わせを奪ってしまう恐ろしいもの。

交通事故白書では、昨年一年間で国民百五十三人にひとりの割合で、事故に会っている統計が示されて事故は他人ごとでなくなったようです。

昨年巻町地内で八十件の交通事故が発生、ふたりの尊い生命を失ないました。

交通安全町を宣言して六年目。ことしこそは、歩行者、運転者がお互いに交通規則を守って、せめて死者ゼロを実現したいものです。広報でも交通事故ゼロの願いをこめて啓発をつづけたいと思います。

巻地区交通安全協会巻支部のご好意で、同支部が小中学生から募集した交通事故防止を訴えた入賞作文を今回から数回にわたって掲載します。

心の戦い

巻中二年二組　渡辺民子さん

「こんなことだったら止まればよかった。ああ、おれの一生はおしまいだ。」

わたくしが、これを書いている時も、あなたがこれを読んでいる時も、日本のどこかで交通事故の犠牲者が出ている。それも、なんと四十八秒間にひとりの割合で死んだり、大けがをしたりしているのだ。犠牲者の半分が子どもなのだそうだ。

もし、あの時ダンプカーが止まっていたら、あの時少年がダンプカーの通り過ぎるのを待っていたら、あるいはこんな悲劇はおこらなかったかもしれない。「おれがあそこにいくまでにあいつは通り過ぎているだろう。」「まだ通ってもだいじょうぶだろう。」と、ゆだんした心が悲劇を生んだのだ。

迫るダンプカー。道を横切ろうとする少年。その二つが触れ合う瞬間。悲劇が生まれる。道路に横たわっている血まみれの少年の変わりはてた姿。その体に取りすがって泣き叫ぶ母親。茫然と立っている運転手。母親の涙が少年の顔をぬらす。

二度と開くことのない少年の口は、死の国の暗黒の中でこう叫んでいた。「ああ、僕は……。」

横切らなければよかった。ちくしょう。僕はまだ十四年しか生きていないんだ。どうしてくれるんだ。まだまだやりたいことがいっぱいあったのに……おかあさん、おとうさん助けて。」――運転手は思った。「ちくしょう。このガキめ、おまえが早くわたればよかったんだ。」

自動車は、人間が造った動く機械。だから、交通事故は人間が生んだものだ。人間は事故のほかに交通規則をつくった。とかくゆるみがちな人間のたよりない心をカバーするために。事故を放ってはおかない。

交通事故をなくすことは、むずかしいことかもしれない。しかし、交通事故は人間が生んだもの。ひとりひとりが努力すれば、なくせると思う。なくさなければいけない。

「さあ、行こう。交通事故ゼロの日まで。」

町成人式

決意新たに五百八十六人
力強く郷土の発展誓う

一月十五日、巻町では男二百五十九人女三百二十七人の五百八十六人を、大人として仲間に迎えました。

成人式当日、前途の多難さを思わせるかのように天候も風雪が乱れ舞う荒い歓迎ぶり。悪天候の中を、寒心ともすっかり成人に達したからだを背広、和服、洋服に包み、四百五十人が会場の巻小学校に集まりました。

また、先輩の竹内県会議員、井沢議会議長ら来賓五十人も参列して若人の門出を祝福しました。

式に先だち、成人記念に血液型判定、性病検査が実施され、希望者百五十人が検査を受けました。

式では、「将来の発展は皆さんの双肩にかかっている」と、江端町長が激励しました。このあと、成人者を代表、大越キイさんが「わたくしたちは、祖国を愛すると共に、力を合わせ郷土巻町の発展につとめます。」と、力強く二十歳の心境を誓い、決意を新たにしました。

式終了後、アトラクションに移り、第一部は公民館が成人者から募集した作文「はたちの記録」の発表会を行ない、石山勇さんら十一人が、二十歳の心意気を発表しました。内容は「自分たちを取りまく現実の社会環境は、冷酷できびしいものだが、これに負けることなく前進して行こう」という進歩的なものが多かった。

第二部のフォークダンスは巻農校中川先生、ダンス部生徒を講師に、フリ袖姿も勇しく（？）大きな輪になり体育館いっぱいに青春の頂点"はたち"を踊っていた。

「成人式には平服で参加しましょう。」婦人団体などの呼びかけで、自粛ムードの中で行なわれた成人式でしたが、残念ながら和服姿が圧倒的に多かったようです。来年こそは気軽な服装で成人式に出席して欲しいものです。

江端町長から祝福と激励を受ける成人者

誓いの言葉を読む大越さん

館長杯球技大会

卓球は、あかね優勝

一月二十一日巻小体育館で第三回公民館長杯争奪青年団体球技大会が行なわれました。

試合では、各団体ともチームワークの良さを発揮、熱戦を展開しました。

当日の成績は次の通りです。

○バレーボールの部
一位松野尾青年団、二位ともしび

○卓球の部
三位理容青年学級
一位あかね、二位ともしび、三位松野尾青年団

○バトミントンの部
一位ともしび、二位理容青年学級、三位あかね

保母試験準備講習会

三月実施予定の保母試験に備えて、受験準備講習会が開かれます。

希望者は一月二十八日までに県児童課あて申し込んでください。

※くわしいことは役場厚生課にご照会ください。

二月八日・三月五日
日赤の採血車来町
みんなで献血を

血液はからだの各部分に栄養などを運び、また不要なものをとり除く、重要な役目をはたす大切なものです。大病や、大けがのときの手術のさい、この血液を輸血して尊い命をとりとめることができることは皆さんがよく知っておられるとおりです。

近年、増加の一途をたどっている交通事故や病気などで輸血を必要とする人びとは、年毎に多くなってきました。

売血制度が廃止されて以来、善意ある人びとの暖かい人類愛の精神にささえられ、今日まで血液の需給が円滑に行なわれ、多くの生命を救ってきております。

しかしながら、最近保存血液が減少し、大きな社会問題になっております。

そこで町民みなさんから愛の血液助けあいにご協力をいただくため、日赤の移動採血車が二月八日三月五日の二回、どちらも午前九時から午後四時三十分まで役場前に来ることになっています。

献血者は、必要な場合献血手帳を示すことにより血液を優先的に受けることもできますので個人的の災害に備えて、ぜひ献血をいたしましょう。なお、献血希望者は献血申し込み書を採血車が来町する五日前までに役場保健衛生課に提出してください。

くらしのメモ

月日の経過は早いもので、おトソ気分がさめやらぬうちに二月を迎えます。ことしはうるう年で、いつもの年より一日長くなります。

二十九日　卒業、進学、就職をひかえ、お子さんのある家庭では気ぜわしい月になりそうです。

さて今月のこよみ…

一日　成人病予防週間始まる
四日　節分
五日　立春
十一日　建国記念の日
十四日　バレンタインデー
十六日　所得税、住民税申告始まる。
二十九日　全国春の火災予防運動始まる。

○テレビの内部のほこり

テレビの裏のふたをはずしてみてください。ほこりがたくさんたまっています。長時間つけっぱなしにしたり、部品が不良だったりして、内部で放電や過熱がおこり、ほこりに引火して火災になった例があります。電気掃じ機か、自転車の空気入れで吹きとばすと案外ほこりがとれます。ただし故障は専門家にまかした方が無難です。

○さとう、化学調味料の使い方

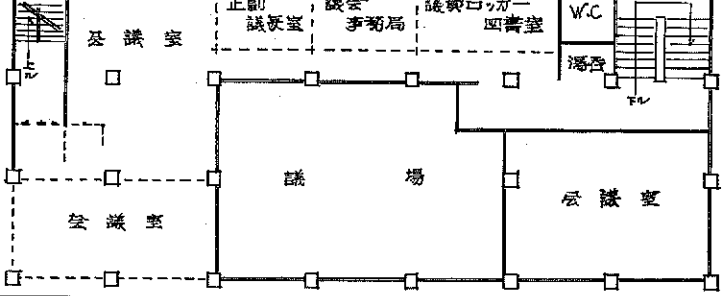
さとうを煮ものに使うときは、必ずしょうゆや塩より前にいれること。また、化学調味料をいれてから強火で熱を加えると、ききめがうすい。火からおろしてから使いましょう。

役場庁舎の三階を改造
＝ふえる会議に備える＝

町ではかねて役場庁舎が手ぜまになったため、役場庁舎の三階議場の両側と北側改造工事を行ないこのほど完成しました。

今までの庁舎の三階には議場、議員控室、正・副議長室、議会事務局が置かれてありました。

改造後は下の平面図のような配置になり、新たに会議室（予定）が設けられました。



新春の抱負

竹野福一氏

明けましておめでとう、の合言葉にまず、私はこう申し上げたい。観念的な挨拶だとしたら、まったく淋しいいたりである。

年頭は誰もがことしこそはと今日の生活にあきたらず、将来の幸福を願いつつあるすべての人びとの新春を迎えました。

人間には職場の生活があり、家庭の生活があり、個人の生活の個人生活を豊かにもつことが最も大切でもあると思う。サル年生まれの私は「いつもある人にたくさんの趣味を持って良く続きますね。」と聞われれば、「気まま適当にやるからね。」と答える。私はひとりのとき、短歌を詠み学び、相手があれば将棋もさす。また若い人たちに交り、ダンスも踊る。最近では書道の会にも入っている。皆さんもすべて自由にやれる趣味があるならば、娯楽の一つ一つが私どもの生活のあらゆる面に大きく得る所があり、交際の輪も豊かに生まれ、学びながらも楽しいものであることを申し上げたい。現今、イギリスのポンド切下げなどにより、私ども国民生活にかなりの影響があると聞く。また、ベトナム戦争による世界的に政治・経済の雰囲気も不安定な状態であるべきであると思う。

私たちの力では、即刻どうにもならぬ事でも奮起し、住み良い郷土づくりに努力しなければならない。そのためにも人それぞれの趣味を少しでも広げ、その良さを自分自身のものにして、交際を厚くしてきたい世論に起ち向こう備えが肝要であると思う。私はあわただしい戦後の時代に、青春の歳月を送ったが、自分の趣味を生かして、個人の生活を豊かにすることこそ、人生を生き抜く最大の鍵であると確信して現在に至っている。

※広報係りから竹野福一氏は新潟日報新春文芸短歌の部で堂々と一席に入選。金的を射とめ幸運のスタートを切られました。

横浜の諸橋さん
町社協に三千円寄付

一月十二日、横浜に住んでおられる諸橋キヨさんから、町社協へ金三千円が送られてきました。

諸橋さんは戦時中疎開したとき越後のみなさんから親切にしていただいたことが忘れられず、その恩返しの一部にと昨年も送ってきてくれました。

町社協では心のこもった善意に感謝し、社会福祉に役立てることにしました。

今月であなたは七十歳

老齢福祉年金が請求できます

あなたは今月の誕生日で、満七十歳になられ、老齢福祉年金を請求する資格を得られましたので、役場国民年金係に問い合わせてください。

明治三十一年一月生まれの方が請求できます。（敬称略）

十二区　石山　タセ
並　岡　間宮　久市
河　井　佐藤　惣市
柿　島　樋口　金平
山　島　成瀬　タキ
鷲の木　青柳真三郎
浦　組　小出　多平
大　原　中野　サイ
越前浜　篠沢太加一
四ッ郷屋　高杉　東
四ッ郷屋　渡辺　ソカ

歳末たすけあい運動
成果を上げて終わる

「みんなそろって明るいお正月」を、昨年十二月行なわれた歳末たすけあい運動に、その後、次の方から暖かい手が町社会福祉協議会によせられましたので、ご報告いたします。

・保川栄七氏（漆山）
・渡辺広さん（六区）
・外山早苗さん（十三区）

○おくやみ●
（十二月一日以降届け出）

名まえ	死んだ日	年齢	住所
山口サヨ	12・1	76	漆山4丁
矢沢サイ	12・1	76	漆山
柳沢スイ	12・2	85	松山
山岸利七	12・5	72	新田
佐藤キク	12・7	65	河井
遠藤チケ	12・7	80	河井
館藤作	12・8	65	五ヶ浜
佐藤春治	12・11	79	五ヶ浜
佐藤喜平	12・11	58	浜
伊藤徳次郎	12・12	23	区
梅沢雄一	12・13	58	区
新井ヨシ	12・15	75	区
小川タツノ	12・19	82	区
中原キクノ	12・20	67	区
横山治郎兵衛	12・21	78	区
中野福次郎	12・24	85	区
小林セキ	12・25	73	区
小田幸雄	12・26	46	区
桑原ハツ	12・28	10	区
長谷川ハツ	12・30	4	区
室橋弥吉	12・30	4	区
梅沢須タカ	12・30	78	区
坂内タカ	12・30	87	区
山賀稔栄	12・30	74	区
高村由紀子	12・30	83	区
小林修	12・30	71	区
外山えり子	12・30	73	区
川井泉	12・30	46	区
吉田昌吏	12・30	85	区
石田直美	12・30	78	区
内藤美穂子	12・30	65	区
小林克也	12・30	80	区
倉沢千津子	12・30	65	区
田中仁	12・30	85	区
岸本和美	12・30	57	区
石川正宏	12・30	72	区
内藤聡一	12・30	74	区
飯塚佳代	12・30	46	区
本間一美	12・30	10	区
杉山晴子	12・30	4	区
内藤るみ子	12・30	4	区
石川清子	12・30	78	区
内村由紀子	12・30	65	区
小林裕美子	12・30	82	区
平原陽子	12・30	67	区
大宮喜久栄	12・30	75	区
田辺和夫	12・30	71	区
斎藤建司	12・30	11	区
斎藤佑司	12・30	4	区
高杉利訓	12・30	9	区
荒井一	12・30	7	区
野沢加代子	12・30	7	区
西片崇樹	12・30	7	区
河治修一	12・30	7	区
佐藤惣一	12・30	7	区
小林吉	12・30	7	区
斎藤美和子	12・30	17	並岡

○うぶごえ●
（十二月一日以降届け出）

赤ちゃんの名まえ	生まれた日	保護者名	住所
斎藤美和子	12・17	並岡	
小島明広	12・19	靖	
佐藤圭子	12・20	晃	
河治亜美	12・23	尚子	
西片崇樹	12・24	一	
野沢崇樹	12・25	修	
荒井加代子	12・25	惣	
高杉大樹	12・25	一	
斎藤佑	12・27	元	
斎藤訓	12・27	和	
田辺建司	12・27	一	
大宮喜久栄	12・28	吉	
平原陽子	12・28	晃	
小林裕美子	1・4	靖	
内村由紀子	1・5	靖	
内藤るみ子	1・8	一	
杉山晴子	1・8	一	
本間一美	1・8	一	
飯塚佳代	1・9	一	
石川正宏	1・9	一	
内藤聡一	1・9	一	
岸本和美	1・10	一	
田中仁	1・11	一	
倉沢千津子	1・11	一	
小林克也	1・12	一	
内藤美穂子	1・16	一	
石田直美	1・16	一	
吉田昌吏	1・17	一	
川井泉	1・18	一	
外山えり子	1・20	一	
小林修	1・20	一	
高村由紀子	1・22	一	
山賀稔栄	1・25	一	
久保紀良	1・25	一	
弘			
栄三穂樹平			
松下和			
野鮎			